

【各椎骨の特徴】

	頸椎	胸椎	腰椎	仙椎	尾椎
概観	小	基本形	大	癒合して 仙骨を作る 耳状面	癒合して 尾骨を作る
椎体	小、低い 左右に長い 楕円形	心臓形 肋骨窩	大、高い 腎臓形	癒合	
椎孔	大、三角形	比較的小 円形に近い	大、三角形	仙骨管を作り、 前、後仙骨孔で 前後に開く	椎弓は退化 し、椎孔、 棘突起を欠く
棘突起	小、上ほ ど水平 尖端は2分	長い、著しく 下方に向かう	大、ほとんど 水平、板状	合して正中仙骨稜 となる	
横突起	後結節 肋骨は前 結節とな る 横突孔	基本形 肋骨窩	乳頭突起＋副 突起 肋骨突起が長 い	肋骨遺残と共に癒 合して外側部とな る 外側仙骨稜	第1を除いて ほとんど退化
関節突起	上関節面 は後上方 を向き、 上ほど水 平	上関節面はほ とんど後方 を向く	上関節面はほ とんど内側 を向く 左右合わせて 円柱面	合して中間仙骨稜 となる	第1の上関節 突起は尾骨角 となる